

海旅業界

関西シニア会会報

発行人 恒松 一郎 海旅業界関西シニア会 大阪市西区江戸堀2-1-1 (江戸堀センタービル) 株式会社トラジャルウェスト内

2004
4月
第15号

ご 挨拶

海旅業界関西シニア会

会長 恒松 一郎

2004年の今年、当会は発足15周年を迎えました。シニア会誕生の秘話は、当時業界の或る方が亡くなられ、お弔いに集まった方の人数があまりにも寂しく、それが発端で少人数が集まって以後仲間間で懇親を深めるようになったことが嚆矢と聞いております。以来15年、今や会員170名という大きな親睦グループとなりました。何はともあれ、その当時急速に高まる日本の高年齢化時代を予見し、この会の源流を発足させた先見性、又幾多の困難を乗り越え今日まで継続して会を育成されてこられた先輩方のご努力に対し大いなる賛辞を呈します。

さて、昨年は同好会活動が充実した年でありました。多くの会員がこれに参加されスポーツにカルチャーにアクティビティーを楽しまれました。

一方、特筆すべきことは、昨年年初より発足したホームページの充実により当会の活動内容を内外の多くの人々が知るようになりました。シニア会のメディアとして素晴らしい効果を発揮しています。遠く海外からも突然に問い合わせが舞い込んで驚いたこともありました。

また、ロングステイ研究会に取り組んでいるうち

に思わぬことも起こりました。それは、タイ国政府の観光部門協力会社(団体)13社のうちの1社に航空会社・大手旅行社と並んで当会が加えられ、昨年5月に観光スポーツ大臣



との間でロングステイ促進に関するMOU(覚書)に調印を交わしたことです。これで当会の活動は海外の政府公式機関からその存在を認められたことになり、ステイタスも少し上がりました。

新しい同好会もいろいろ誕生しつつあります。今年から野外スケッチと写真の会が、「写真会」と洒落た名前で発足いたしました。お茶を楽しむ会もできそうです。どしどし楽しむ集いを皆さんの手で作ってください。

シニア会は会員の皆さんの会です。

2月の総会・懇親会、夏のビア・パーティーのみならず、同好会活動への積極的なご参加を心からお待ちしております。

— 海旅業界関西シニア会公式ウェブサイト —

<http://www.class-e-jp.com/senior/kai/index.htm>

シニア会第15回総会が開催されました

海旅業界関西シニア会は1989年の創立以来15周年を迎え、2004年度総会が2月5日(木)午後5時から、阪急ターミナルビル会議室で開催されました。15周年に相応しく、81名の会員が出席して、会長の前年度活動報告、2004年度活動方針発表に続いて2003年度会計報告および2004年度予算が承認されました。(53名の会員より委任状の提出がありました。)

恒松会長は新年度活動方針の目玉として、シニア会メールマガジンの発行を提案しました。現キャビネット発足以来提唱し続けてきた「IT環境拡充による会員の交流強化」が、予想以上のスピードで進み、2002年12月にシニア会ウェブサイトを開設したことが大きな転機を迎えることとなりました。会員の70%がインターネット環境を持つ状況になっている現状に鑑み、会員の情報共有と交流を一步前進させようとする試みです。

この会報がお手許に届く前にメルマガ第1号が発行されていることになるでしょう。

承認・決議された議題：

1. 2003年度会計報告および2004年度予算(別紙参照)

2. 運営委員の承認

写展会(スケッチと写真同好会)の発足に伴い、同好会担当運営委員として新井永生会員が新たに運営委員として承認され、就任しました。

2004年度運営委員は以下のとおりです。

会 長	恒 松 一 郎	(運営委員)	高 橋 謙 治 (ゴルフ同好会)
副 会 長	雌 次 郎		高 山 嘉 明 (ウォーキング同好会)
副 会 長	牧 野 宏		福 井 安 司 (パソコン同好会)
会 計	益 田 健 二		久保田 勝 (テニス同好会)
会計監査	福 井 功		山 田 晴 義 (ロングステイ研究会)
事務局長	仲 功		新 井 永 生 (写展会)

第一部総会に引き続き、午後6時から第二部懇親会が行なわれました。楽しく和やかな雰囲気の中でビンゴゲームが盛り上がりました。

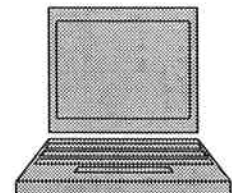
会 員 の 動 向

☆新 入 会 員 (2003年2月~2004年2月・敬称略)

大迫嘉昭(2月)・渡邊堅太郎(3月)・大谷 隆(4月)・奥野俊夫(4月)・塩津興典(4月)
土井一則(4月)・前田龍作(4月)・藍澤忠士(5月)・稲並幸治(5月)・杉本孝行(7月)
厚田豊彦(7月)・木沢誠名(7月)・富山智子(7月)・井上律子(7月)・村上敏明(8月)
西川元夫(9月)・皆木良次(9月)・石田哲章(10月)・志茂 正(10月)・泉 寿夫(11月)
若林千束(2004年1月)・藤井 徹(1月)・黒中克己(1月)・松本好正(2月)
林田建夫(2月)・高木明德(2月)

☆退 会 者 (2003年度・敬称略)

小林雅基(7月)・孝橋智子(12月)・塩津興典(12月)・岡本輝代子(12月)
広山久夫(12月)・高野稔大(12月)



2004年2月末現在の会員数は183名です。

(アクティブ会員-168名・休会会員-2名・物故会員-13名)

∞∞∞∞∞ 同好会活動のご紹介 ∞∞∞∞∞

シニア会の活動は、趣味を同じくする同好会活動が軸となっています。15年前、シニア会発足当時から活動しているゴルフ同好会、ウォーキング同好会はシニア会の原点です。シニア会誕生とともに発足した音楽部、囲碁部と旅行部は途中で消滅しましたが、その後パソコン同好会、テニス同好会、ロングステイ研究会が次々に誕生し、今年、写真会（スケッチ・写真同好会）が加わって6つの同好会で構成されています。

●ゴルフ同好会

[担当] 高橋謙治 電話：075-934-0246 Eメール：takahasi@eos.ocn.ne.jp

2003年度の登録会員はシニア会最大の70名で、2大会、2研修会に延べ87名が参加しました。

2003年度成績表

- ・第27回大会 4月10日(木) 能勢カントリークラブ (参加者23名)
優勝：高橋謙治 準優勝：畑 俊行 3位：河野純哲
- ・春季研修会 7月17日(木) 箕面ゴルフクラブ (参加者17名)
優勝：栄藤嘉明 準優勝：西岡喜久男 3位：須摩信雄
- ・秋期研修会 9月17日(水) 新宝塚カントリークラブ (参加者17名)
優勝：谷口 淳 準優勝：安川 葵 3位：五十棲安雄
- ・第28回大会 11月13日(木) 西宮北ゴルフコース (参加者30名)
優勝：田中隆嘉 準優勝：境 俊造 3位：近藤恒人

2004年度活動予定

4月 6日(火)	第29回大会(お花見)	能勢カントリークラブ
7月23日(金)	春季研修会	(会場未定)
10月14日(木)	秋季研修会	(会場未定)
12月 8日(水)	第30回大会	(会場未定)



●ウォーキング同好会

[担当] 高山嘉明 電話：06-6940-3451 ファクス：06-6940-3452

Eメール：technotour@nyc.odn.ne.jp

2003年度の活動報告

- ・ 2月 1日(土) 高見山霧氷登山 雨天のため中止
- ・ 4月 6日(日) 大津三井寺の桜 20名(ファミリー5名)
- ・ 5月11日(日) 奈良神野山のつつじ 雨天のため中止
- ・ 6月 1日(日) 奈良県みたらい溪谷 雨天のため中止
- ・ 7月21日(休) 比叡山と坂本 雨天のため中止(9月に順延)
- ・ 9月23日(休) 比叡山と坂本 14名(ファミリー3名)
- ・ 10月12日(日) 曾爾高原とススキ 16名(ファミリー2名)
- ・ 11月16日(日) 姫路書写山の紅葉 12名(ファミリー2名)

2004年度活動予定 *事前エントリーされた方にコース別案内を送信します

4月11日(日)	世界遺産平城宮跡探索	5キロ	3時間	家族向き
5月30日(日)	初瀬の里(奈良県桜井)	6キロ	2.5時間	家族向き
6月20日(日)	河内古寺巡礼(河内長野市)	8キロ	3時間	家族向き
9月23日(休)	山之辺の道(奈良県)	13キロ	4時間	家族向き
10月17日(日)	明日香高松塚と石舞台	9キロ	3時間	家族向き
11月21日(日)	笠置山周辺(京都府)	9キロ	3時間	家族向き

上記公式行事のほか、「医師と歩こうトーク&ウォーク」(年5回実施予定)に参加ご希望の方はシニア会ウェブサイトをご参照のうえ高山までお申込みください。このイベントはウォークとシニア向け健康スポーツ講話の2部構成です。

●パソコン同好会

[担当] 福井安司 電話：06-6335-2186 Eメール：spdbird@tcct.zaq.ne.jp

西宮市のパソコン教室「Class-e」で、会員およびその家族を対象にして、ワード、エクセルの初級からからホームページ作成などの上級まで、レベルに応じたレッスンを楽しく受けています。また、毎月第3土曜日の午後には「サタデー・ラウンジ」を開催、会員とインストラクターを交えてワインを飲みながら気楽にパソコン談義に花を咲かせています。

●テニス同好会

[担当] 久保田 勝 電話：0797-32-7388 Eメール：m-kubota@kts-intl.co.jp

2003年度は1月12日の新年例会を皮切りに12月23日の忘年例会まで、合計17回の例会を芦屋国際ローンテニスクラブをホームコートとして開催しました。

今年度も、毎月2回程度のペースで開催を予定しておりますが、シーズンごとに例会予定日をウェブサイトにてご案内しています。テニス同好会は「Enjoy First」をモットーとしておりますので、テニスの力量に関係なくファミリーで楽しみたい方を歓迎します。

●ロングステイ研究会

[担当] 山田晴義 電話：0726-32-8574 Eメール：h-ynd@hcn.zaq.ne.jp

「年金でのロングステイ」をテーマとして2-3ヵ月に1回程度の研究会を開催し、タイ・マレーシアに軸足をおいて海外でロングステイ・デスティネーションとして魅力のある地域の情報収集・分析を行なう。年1回のテーマ地域の公式研修のほか、会員や政府観光局からの要望を検討して随時研修旅行を実施する。欧米など、遠方地域については情報ネットワークの構築にとどめ、主体的な研究活動は行なわない。

2003年度の研修旅行報告

6月12日～19日	タイ・ロングステイ研修（バンコク・チェンマイ）	8名参加
8月28日～9月4日	コタキナバル・ロングステイ研修	6名参加
12月17日～24日	タイ・ロングステイ研修（ホアヒン・チェンマイ）	17名参加

研究会は合計4回実施しました。

2004年度活動予定

1月27日、新年会を兼ねて今年第1回の会合を行ないましたが、研究会を3ヶ月に1回程度と6-7月にはマレーシア公式研修旅行を実施（マレーシア政府観光局協力予定）のほか、東南アジア地域への有志による研修旅行を計画しています。

●写展会（スケッチ・写真同好会）

[担当] 新井永生 電話：06-6854-9013 Eメール：nagtom-a@pd6.so-net.ne.jp

スケッチおよび写真を楽しむ会員のために新しく発足した同好会です。四季折々の自然や花などをテーマとして毎月1回例会を行ない、2月の総会会場を作品発表の場とします。これから写生や写真を楽しみたい方を歓迎します。

例会予定（暫定版）

3月11日（木）一梅	7月8日（木）一海	11月11日（木）一紅葉
4月9日（金）一桜	8月20日（金）一山	12月10日（金）一屋内写生
5月13日（木）一新緑	9月9日（木）一コスモス	1月20日（木）一屋内写生
6月11日（金）一紫陽花	10月8日（金）一実りの秋	2月一作品発表会（総会会場）

本日のファーストクラスは貸切です。そのお客様は・・・

中 吉 泰 江
(元ユナイテッド航空)

私は1970年大阪万博の年に、PAN AMの空港支配人秘書として入社後、組織替えでグランドスタッフとなり、その後PAN AMを買収したUA社への移籍を経て29年間、主に伊丹空港と関西国際



空港(途中4年間は名古屋営業所)で数多くの旅客の接遇に携わりました。入社当時の万博開催中は月面着陸の宇宙飛行士を始め国賓や著名人そして多くの観光客が世界中から訪れて大阪は大活況を呈していました。日本からのご乗客も時代の移り変わりに呼応して、ペアールックのハネムーンや団体客、バブル時の猛烈社員の出張旅行や豪華な家族旅行、そしてバブル崩壊後は格安切符を利用しての個人好みの旅行へと変化して行く様子を目の当たりに見てまいりました。

これから始まる旅に胸躍らせている観光客や出張のビジネスマンの他にも、愛する人との別れを惜しんで涙している人や、家人が外地で急病や事故に遭い急遽旅立つ人、心臓の移植手術を受けに行く人、車椅子でパラリンピックに参加する人、熱い志に燃える留学生、更に人種や宗教の異なる人々等々 一つの船(飛行機)には色んなご乗客がおられ、各人旅立ちの前にそれぞれのドラマをお持ちの上に 海外での新たなドラマの一ページをスタートすべく空港に集まられます。

この様に種々雑多なおお客様の接遇に携わると、へえ～～度の高いエピソードも沢山あります。

その一例をここにご紹介致します。

「本日のファーストクラスは1名様とお犬様の貸切です」とフライト・ブリーフィングを受けた時にはスタッフ一同驚きました。実は米国人のT氏は子供のように可愛がっている愛犬Pが日本の獣医では治せぬ難病に苦しんでいることに心痛めていました。思い切って米国で治療を受けさせようとUAに予約を試みました。T氏の条件は愛犬Pを機内に連れ込み、ずっと傍にいてあげることでした。当時のUA規則では、ペットの国際便機内持込は他のお客様のご迷惑になる可能性が多いので禁止されていた為、貨物室(勿論、空調温度管理有り)にお預かりする方法をご案内しましたが到底受け入れられるものではありません。そこでT氏の愛犬に対する強い愛情と同情心に何とか応えたいと工夫した結果、T氏以外の乗客が居ないクラスでのペットの持込を本社に特別に許可してもらうことと、愛犬Pは機内持込大型荷物扱(荷物用に座席を買う扱い・大型楽器等に用いる)とすることで、無事にファーストクラスの2席を予約する商談が成立したのです。



問題はいかに景気の悪い時代であっても F クラスに予約が入っていない便を探すのはなかなか困難なことでした。綿密な検索の結果 候補になる便を選び出し、T氏には空港で待機して頂きました。勿論一見雑種の中型犬のPちゃんもT氏の腕の中で虚ろな目をして一緒にです。万一、他の F クラスのお客様が来られたらT氏達は出発出来ません。昨今と違って 当時はマイレージプラスの特典を利用して旅行当日突然 F クラスへのアップグレードをする方が殆どおられなかったのも幸いして、T氏と愛犬Pはスタンドパイ最後のお客様として無事チェックインを終え、スタッフのエスコートのもと F クラスの客室に入られ乗務員の暖かい 歓迎をお受けになりました。

愛犬Pの病状が伝染性のもではなく、長時間の飛行にも耐え得るとの診断書が獣医と動物検疫所より発行されていることや、機中に於いてはケネルから絶対に出さない等の制約付ではあっても、T氏は愛するPちゃんを傍において貸切客室の特別サービスをご満足戴けたことでしょう。私達も予約課と空港のチームワークで F クラス 2 席のセールスを得たうえにお客様のご要望にもお応え出来たことを喜びました。

それにしても高額な旅費をも厭わぬT氏の愛犬に対する必死の救援精神とその愛情の深さには頭の下がる思いでした。

さて 皆様のへえ〜度は如何？



一番難しかったのは羽田空港

石 川 淑 英
(元ジェイティービー)

現在は情報が有り余っていて、かえって苦勞をしている様だが、海外観光旅行の芽が出始めた1970年代初頭は 渡航先の情報はおろか、あらゆる情報が不足し、入手が出来なかった。訪問先のガイドブックすら無い。ロンドン、パリや ニューヨークなどの市街地図などは、まさに貴重品であった。コピー機なども青焼きしかなく、手書きで写し撮るしかなかったものである。通信手段も、FAXなんて気の利いたものは想像すら出来ず、国際電話ですらままならない状態であった。

こんな中 いざ添乗となると 不安だらけ、添乗経験者の先輩の家に上がりこみ、空港の見取り図や、トイレの場所まで克明に記録し、美術館や寺院の入り方、入場券の買う場所など準備にノート1冊潰した記憶がある。出発後はバック・アップなど何も無い。自分の度胸と勘と体力だけが頼りである。

アメリカ一周30日間の添乗のとき。夢にまで見たアメリカ大陸の第一歩。SFOに到着。なんとか荷物をピックアップ・アップして出てくるや、車はおろか誰も迎えに来ていない。ようよう慣れない電話でランド・オペレーターに連絡すると「お前のTourはキャンセルされた。何故来

たのか？」手配担当者を呪ったものだ。お陰でバスではなく、当時は珍しかったセダンのオープンカーを連ねて市内観光、お客も大喜び、見るもの全て感嘆しきり、その時のゴールドゲートを見た感激は今も忘れられない。



「I left my heart in San Francisco」を聞くたびに 当時を思い出す。当時のお客様もおおろか、率直に喜び、感激を表していた。全てが初体験、「頼りは貴方だけよ」と全員に頼られ、奥様方は旦那さんにより私に気を使ってくれて、食事の時には、誰が添乗員の私の横に座るかでもめたこともあった。あれだけ準備したノートも役に立たないことがしばしば、走り回ってどうにかこうにか旅程をこなして疲労困憊？、そして無事帰国。

ほっとしたのも束の間、羽田空港の乗り継ぎで迷ってしまった。アメリカの各空港では案内板だけで迷ったことも無いのに！ 日本の表示板の不親切さを改めて感じた。

今でも不親切と思っている。



わたくし流シニアライフ

(ガーデンメンテナンス・尺八・民謡)

篠原 和 男

(元阪急交通社)

退職して足掛け5年になります。退職した当時は、何もせずにこれからは好きなように、気ままに暮らそうと思っていましたが、次第に無気力になり家の中でごろごろすることが多くなりました。これではいけないと思い始めたのが2ヶ月ほど経ってからでした。

何か始めなければと思い、ハローワークの紹介で職業訓練校の造園学科に入ったのがきっかけで、以後のことを考えるようになりました。訓練校を卒業後、自分の庭で植木の剪定・簡単な庭の改修工事などをしているうちに、知り合いとか近所の家から剪定の依頼があり、現在は造園業の真似事をしております。当初は何も思わなかったのですが、実際にやり始めると体の調子が非常に良くなり、常用していた血圧の薬も止め、100キロ近くあった体重も15キロほど少なくなり、医者も驚くような状態になりました。

また造園のほうも時間が経つにつれて樹木に対する愛着が湧いてきて、知識・技術面でも欲が出て、今では翌年どうなっているのか見るのが楽しみになっています。病虫害が付けば駆除してやると花・葉つきがよくなるし、木を透かして風通しを良くすれば木が元気になり、病虫害も付きにくく世話をすればするほど、こちらの気持ちに伝えてくれます。そうなると商売抜きで手入れをするようになり、お得意様とも商売抜きのお付き合いが出来るようになって、現役時代と異なり損得抜きの友達のような付き合いとなっています。この仕事は3Kと言われる部類の仕事ですが、現役時代と違った満足感があり、これとともに他のことにも欲が出て、今では造園を

主に、尺八・民謡・ウォーキングと分野を変えて楽しんでいきます。造園・ウォーキングで身体を動かし、尺八・民謡で腹の底から思いっきり息を出したり声を出したり、そ

して年一度の発表会へ。適度なストレスは掛かりますが、それに没頭出来るため私にとっては非常に役立っていると思います。



またシニア会のウォーキングでは、歩きながら昔の気持ちを思い出し、懐かしい思いをしています。私は、大和三山のひとつ、耳成山の麓に住んでいるため、明日香方面は良く歩くのですが、また違った楽しみがあります。ガーデンメンテナンスの暇な時期は少し遠出をし、これまでには富士登山・箱根・伊豆近辺のハイキングなど、又四国八十八カ所も二週間ほどかけて自転車でもまわってきました。このように今では秋の3ヶ月～4ヶ月で体力作り・資金作りをし、春～夏にかけては自分が行きたいところに、時間を気にせず気ままに行っております。地方をゆっくり回ると土地の人情にも触れられ、気持ちが洗われるようなことも多々あります。今では現役時代には考えられなかったような穏やかな気持ちで、毎日を過ごしております。ただ心配なのは、頭を使うことが少なくなっているの、どうしようかと考えているところです。

篠原和男さんのウェブサイト：<http://www7.ocn.ne.jp/~shino/>

シニア会に入会して

西川元夫

(元近鉄ホテルシステムズ)



今回シニア会に入会
させていただき誠にあ
りがとうございました。
ともすれば自分のこ
とだけが関心事となる
ような老後とならない
よう、いろいろなご経
験をされた皆様方との

会合や活動に参加させていただくつもりですので宜しく
お願いいたします。

私は今年“古希”を迎えましたが、気力、体力は
人並みには維持しているつもりです。

若いころは登山に熱中し、年に3ヶ月は山にこも
った年もありました。今考えますと、どうして卒業
できたのか不思議でなりません。当時の先生から、
君は工学部の学生なのか山岳部の学生なのかとお叱
りを受けたこともありましたが、しかしそのおかげで
卒業の数年後に、大学が記念事業の一つとしてヒマ
ラヤへ登山隊を出すことになりまして、夢のような
話ですが隊員として参加の要請をうけました。勿論
異論はなく1961年2月、深夜の神戸港第四突堤

から英国の貨客船でカルカッタへ出帆、6ヶ月の旅
に出ました。これが私として初めての海外体験とな
ったわけです。当時はまだ戦後の色濃い時代でした
が、香港、シンガポール、ペナン、ラングーンと寄
港しながらカルカッタへ向かいました。港湾で積荷
のあげおろしの2～3日の停泊中、商社や領事館の
かたがたの激励やおもてなしを受けたりしたのも、
なつかしい思い出です。

二十数年前からホテル事業に従事することになり、
JNTOのアメリカ各都市でのトレードショウとか、
いろいろな海外を経験しました。

退職後は日に日に新しいことを体験することが少
なくなり、時間のたつのがどんどん速くなったと痛
感していました。

これからは先輩の皆様方からお知恵を頂いて、こ
のいつのまにか時間が過ぎていく状態から脱却した
いと願っています。また新しい体験に挑戦させてい
ただき、自分を再発見していこうと願っていますの
で、宜しくご指導頂きますようお願いいたします。

(注) 西川さんは2003年9月、シニア会に入会されました。



***** 編集後記 *****

海旅業界関西シニア会15周年の節目の年にお届けする会報第15号の発行にこぎつけることが出来て、
発行責任者として感無量です。現キャビネットにとって任期最後の年を迎えてシニア会の活動が益々軌道
に乗り、その内容が充実してきたことは嬉しいことです。

会長の挨拶にもあるとおり、15年前のチャーターメンバーに始まって、ここまで歴史を刻んでこられ
た先輩諸氏の努力のうえに今日のシニア会があることを忘れてはならないと思います。

15周年を機に、シニア会の歴史を振り返り、その軌跡を記録にとどめておくことは私たち現役役員の
使命であるとの思いを強くしています。歴代役員や発足当時の会員の皆様のご協力を得て、「シニア
会アーカイブ」をウェブサイトに掲載することになりました。過去の記録が風化しかけている状況で、歴
史を掘り返すことは、それなりのエネルギーが必要です。会員の皆様のご協力をお願いいたします。

(事務局 仲)